

No. 12-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 2

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		26年 6月 16日		
事務事業名		農業祭事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課		係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	5-1-1 農業の振興						予算費目	会計		一般	
		④ 流通体制の充実							款		6	
主要施策							項		1			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		施策・事業評価における住民の意見の反映										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	農家及び住民				東員町における農業振興をより多くの住民に理解していただくために、生産者と消費者、農業と地域社会とのふれあいの場を提供することにより、農業への関心を高めていただくことを目的とする。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				町内の農家が生産する農産物の品評会や即売会を行うことにより、栽培技術の向上及び生産意欲の醸成を図るとともに、地元の農業を身近に感じていただくことにより、農業の大切さや地産地消の推進、新規就農者への促進活動を実施します。							
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 57年度		～		平成		年度（		年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）		平成25年度（決算）		平成26年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		2,713		2,627		2,713						
財源内訳	国庫支出金		0		0		0					
	県支出金		0		0		0					
	地方債		0		0		0					
	その他特定財源		0		0		0					
	一般財源		733		647		733					
直接事業費（千円）A		733		647		733						
人件費（千円）B		1,980		1,980		1,980						
内訳	一般職員（人・千円）		0.30 人 1,980		0.30 人 1,980		0.30 人 1,980		0.30 人 1,980			
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0		人 0			
成果指標	成果指標名			単位	25年度		26年度		27年度			
					目標	実績	（目標）		（目標）			
	① 農業祭への来場者（延べ）			人	1,000人以上	700人	1,000人以上		1,000人以上			
	②											
③												
説明		町の農業振興への意識の高揚とPR活動が主な目的としており、人の出入が非常に多いことにより、来場者の人数算出については、客観的な見解で判断しています。										

事業名	農業祭事務	シート作成課	産業課
-----	-------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	農業に対する関心・理解を深めるための事業として欠かすことのできないものであります。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地元で採れた野菜等の販売、植木や花の販売など、地産地消の活動の場として有効に活用されています。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	農業祭の実施により、農産物生産者と町民との交流、農業に対する理解と意識の高揚、地産地消の拡大を図ります。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	事業内容の改善や事業コスト削減の検討を行いながら、今後も事業を進めていきます。

**本事務事業の実施適切性の説明**

農家の生産意欲の向上を図るとともに、より多くの住民に参加・来場していただき、本町の農業や農産物への理解と関心を高めるべくととも、安全・安心な「食」と「農」の繋がりや重要性を多くの住民に知っていただく場として有効な事業です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	3	3	(8) B	(7) (6) <b>A</b>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	(2) D	(5) (6) (8) C
今後の改革・改善目標	町内産農産物を直接住民へ啓発する機会として、有効な事業の一つではありますが、農業従事者の高齢化や後継者不足などの影響により、年々農産物品評会の出品数が減少傾向にあります。今後は、生産者と消費者が相互に理解を深め、農業や安全・安心な町内産農産物の重要性についての普及啓発と食農推進事業の取り組みを通じ、地産地消の推進を図る必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	3	3	(8) B	(7) (6) <b>A</b>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	(2) D	(5) (6) (8) C
コメント	近年、食の安全性に関する住民の関心が極めて高くなってきていますが、その反面、農業従事者の高齢化や農業離れが深刻化しています。本事業は、農業を身近に感じていただく好機であり、安全・安心な町内産農産物の重要性や農業への理解と関心を高めるため必要な事業です。より安全・安心な食料供給の形成及び食料自給率の向上に関する事業に取り組む必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--